広島県経済の特徴

２０２５年６月５日
日本銀行広島支店

〈本件に関する問い合わせ先〉
日本銀行広島支店営業課
〒730-0011　広島市中区基町8番17号　TEL：082－227-4110　FAX：082－502-0165
本資料は当店ホームページ（https://www3.boj.or.jp/hiroshima/）にも掲載しています。

１． 地勢的特徴

- 広島県は、東西約130km、南北約120kmに及んでおり、面積は8,478㎢と全国11位（全国の面積に占める割合：2.2%）。
- 山間部が多く、森林面積が全体の71.9%（全国：65.5%）を占める。山すそまで宅地が発達しているほか、県土の多くが脆弱な地質（真砂土を含む花崗岩類）で覆われていること等から、土砂災害警戒区域の指定数は全国1位となっている。

【図表１】面積（2025年1月1日時点）

（㎢）

1	北海道	83,422.27
2	岩手県	15,275.05
3	福島県	13,784.41
4	長野県	13,561.56
5	新潟県	12,583.67
6	秋田県	11,637.52
7	岐阜県	10,621.29
8	青森県	9,645.11
9	山形県	9,323.15
10	鹿児島県	9,186.20
11	広島県	8,478.16

【図表２】森林面積割合（2019年）

（%）

1	高知県	83.3
2	岐阜県	79.0
3	島根県	78.0
4	山梨県	77.8
5	奈良県	76.9
6	和歌山県	76.2
7	宮崎県	75.5
8	徳島県	75.4
9	長野県	75.3
10	岩手県	74.6
11	京都府	74.2
12	福井県	73.9
13	鳥取県	73.4
14	広島県	71.9

【図表３】土砂災害警戒区域の指定状況（2024年12月31日時点）

（指定数）

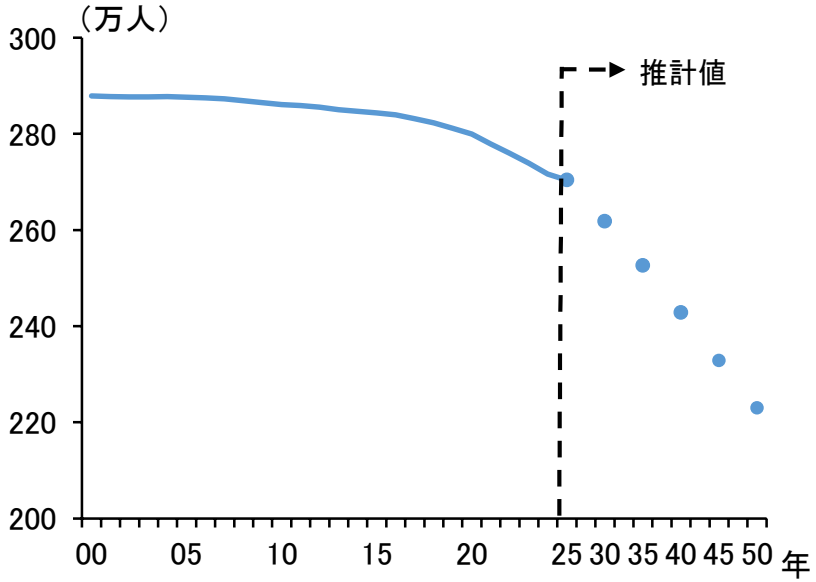
1	広島県	47,847
2	長崎県	37,639
3	島根県	32,210
4	長野県	27,327
5	山口県	25,728
6	熊本県	25,606
7	大分県	25,212
8	鹿児島県	23,758
9	和歌山県	21,890
10	兵庫県	21,525

（資料）国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」
総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2025」
国土交通省「全国における土砂災害警戒区域等の指定状況（R6.12.31時点）」、広島県砂防課

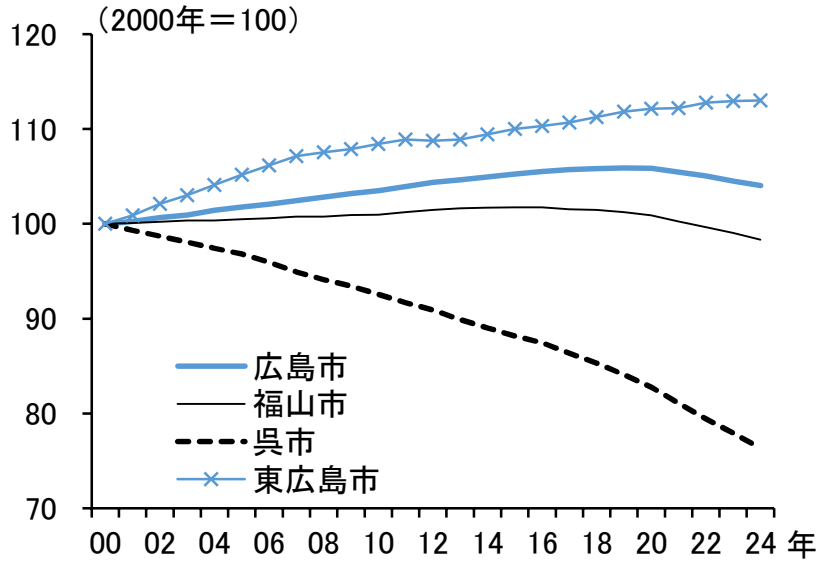
２． 人口

➢ 総人口は271万人（全国12位、2024年10月1日現在）で、その4割に当たる118万人が広島市に集中。その他の主要都市は、福山市（45万人）、東広島市（20万人）、呉市（20万人）。この間、県内総人口は緩やかに減少しているほか、先行きは減少スピードを速め、2050年には223万人まで減少するとの推計も示されている。

【図表4】広島県の人口



【図表5】県内主要都市の人口

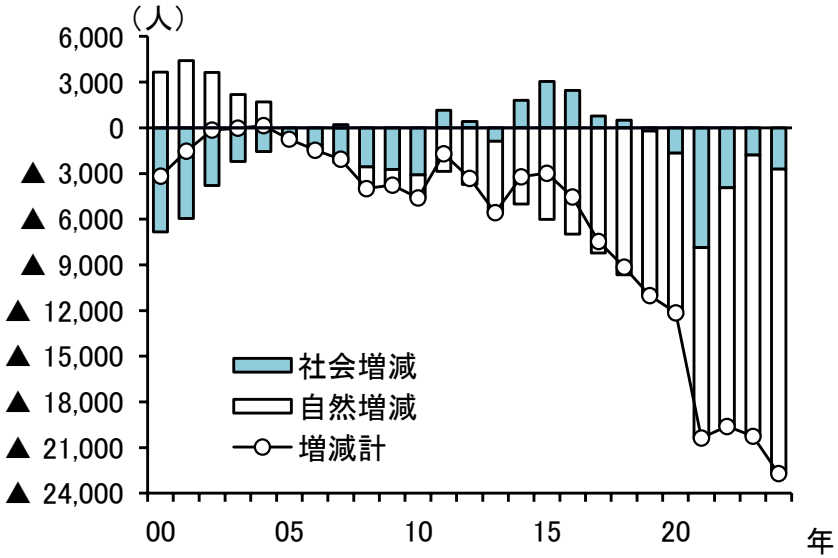


（注）各年10月1日時点。
（資料）広島県「広島県人口移動統計調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」、総務省統計局「人口推計」

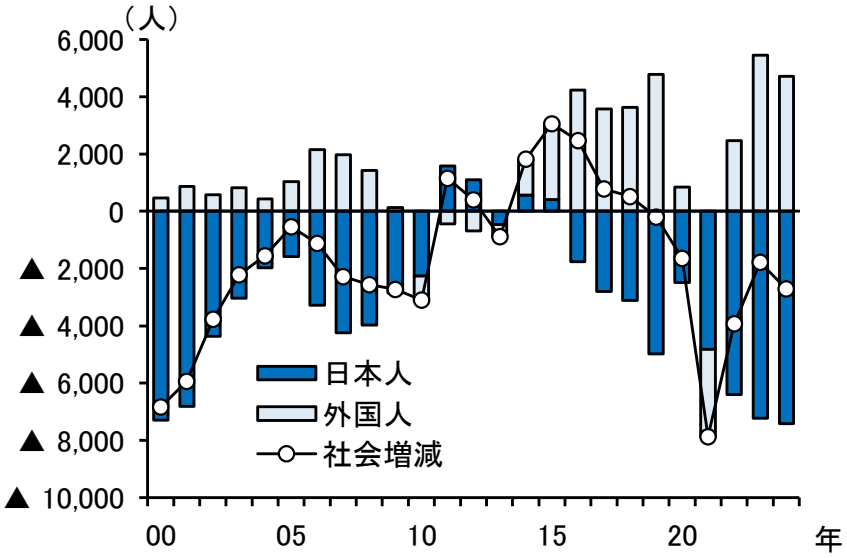
２．人口（続き）

➢ 県内人口減少の背景には、①死亡数が出生数を上回る自然減が拡大していることに加え、②転出数が転入数を上回る社会減が生じていることがある。社会増減の内訳をみると、外国人は増加している一方、日本人は減少が続いている。

【図表6】広島県の人口増減の内訳



【図表7】広島県の社会増減の内訳



（注）各年10月1日時点。
（資料）広島県「広島県人口移動統計調査」

３．交通インフラ

- 道路：沿岸部と山間部、東西南北ともに高速道路網が発達。なお、2015年3月には松江道（中国やまなみ街道）が新たに開通し、尾道市～松江市間が約80分短縮された。また、県内では、2023年に東広島・安芸バイパス（海田西IC～八本松西IC）が全線開通したことで、広島市～東広島市間が約30分短縮された。
- 鉄道・バス：新幹線は、県内に5駅（福山、新尾道、三原、東広島、広島）所在。広島市内においては、路面電車が発達しているほか、新交通システム（アストラムライン）が、中心部と市北西部に位置する広島広域公園を結んでいる。バスは、10社の事業者が広島市内で運行を行っている。

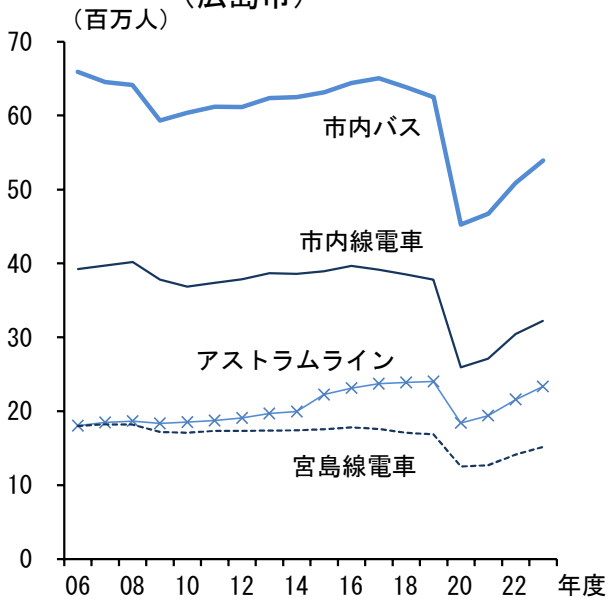
【図表８】広島市内からの所要時間（乗用車利用）

岡山市	約2時間20分
松江市	約2時間30分
鳥取市	約4時間10分
山口市	約1時間50分
松山市	約3時間

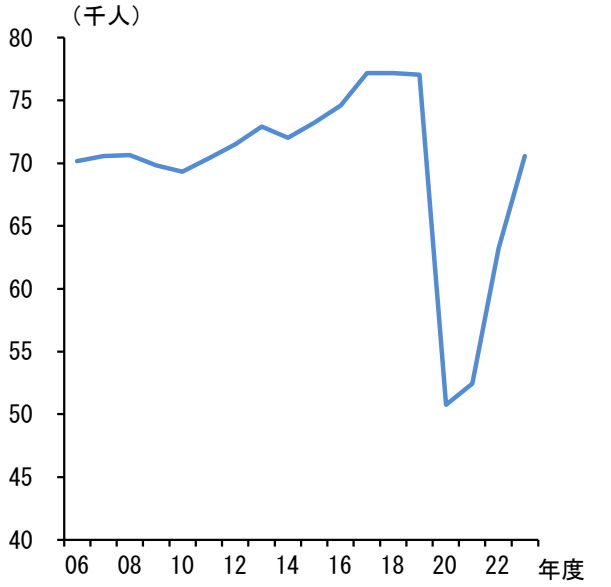
（注1）広島港と松山観光港は高速船により最速1時間10分で結ばれている。
（注2）所要時間はあくまで目安であり、交通状況によって変わり得る。

（資料）Google、瀬戸内海汽船、広島市「広島市統計書」

【図表９】公共交通機関の乗車人員数（広島市）



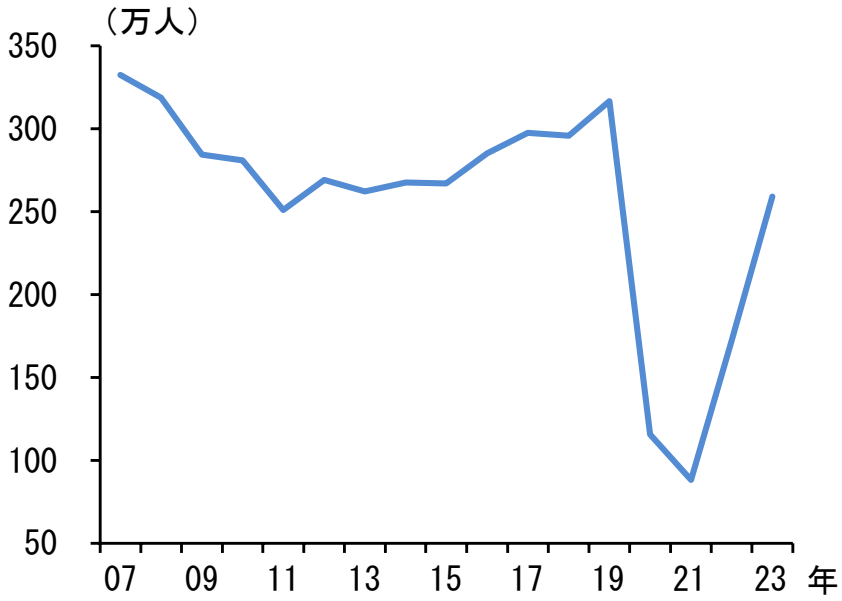
【図表10】JR広島駅の乗車人員（1日平均）



３．交通インフラ（続き）

- 空港：1993年10月に広島市内にあった広島空港が三原市に移転し、2021年7月に広島国際空港株式会社（HIAP）として民営化。乗降客数（国内・国際線合計）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2021年には88万人まで減少したが、2023年には259万人まで回復。
  ―― 国際線は、2024年5月からハノイ便が新規就航したほか、同年11月には香港便が運航再開。

【図表11】広島空港の乗降客数



【図表12】広島空港からの直行便（2024年10月1日時点）

	路線	便数（往復/日）
国内線	東京（羽田）	15
	東京（成田）	1
	札幌（新千歳）	2
	仙台	3
	沖縄（那覇）	1

	路線	便数（往復/週）
国際線	ソウル	14
	大連/北京	2
	上海	4
	台北	5
	ハノイ	2
	香港	運休※
	バンコク	運休

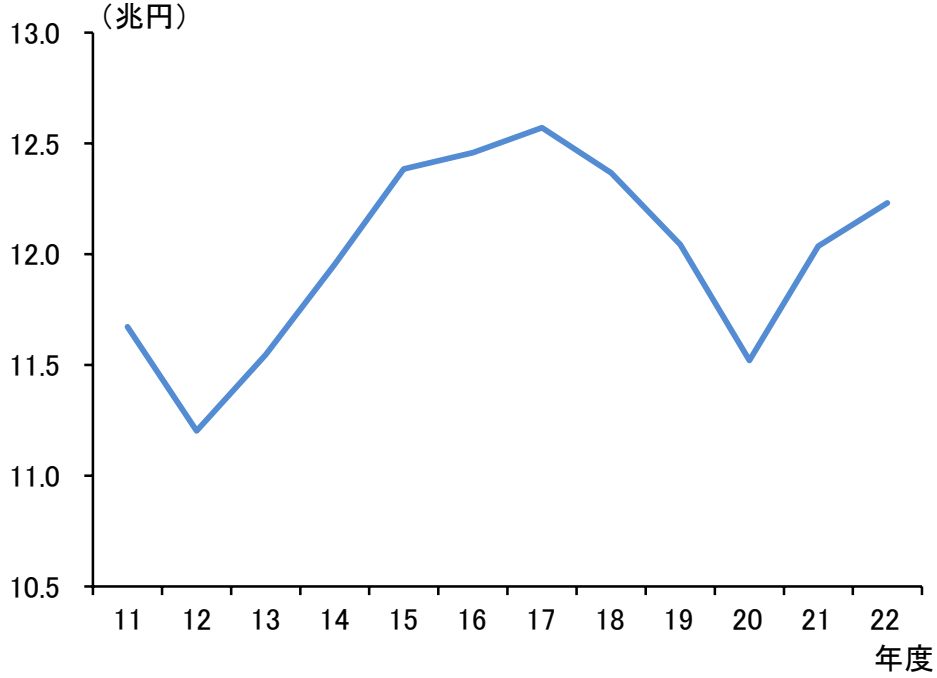
※香港便は2024年11月から運航再開済

（資料）国土交通省「空港管理状況調書」、中国運輸局「《令和6年度版》中国地方の空港概要」

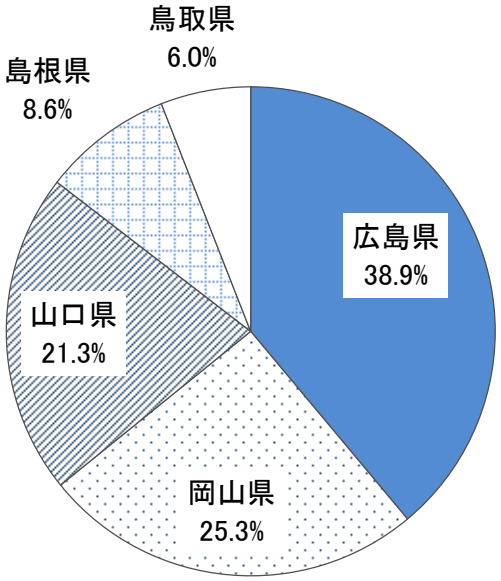
４．県内経済の特徴（１）県民経済計算

➢ 広島県の県内総生産（実質、2022年度）は12.2兆円で、中国地方におけるシェアは38.9%。なお、全国におけるシェアは2.1%（全国12 位〈実質、2021年度〉）。
—— 次ページの事業所数の全国シェアなども合わせ、広島県経済は全国の「2%経済」と評されることもある。

【図表13】広島県の県内総生産



【図表14】中国地方における県別構成比
（県内総生産、2022年度）



（資料）広島県「令和4年度広島県県民経済計算結果」、内閣府「県民経済計算」

４．県内経済の特徴（２）事業所数

- 広島県の事業所数は125,320事業所（2021年）となっており、全国に占める割合は2.4%。
- 事業所数を業種別にみると、卸売業・小売業のウエイトが最も高く、次いで宿泊業・飲食サービス業となっている。ただし、従業者数ベースでみると、製造業や医療・福祉のウエイトが高い。

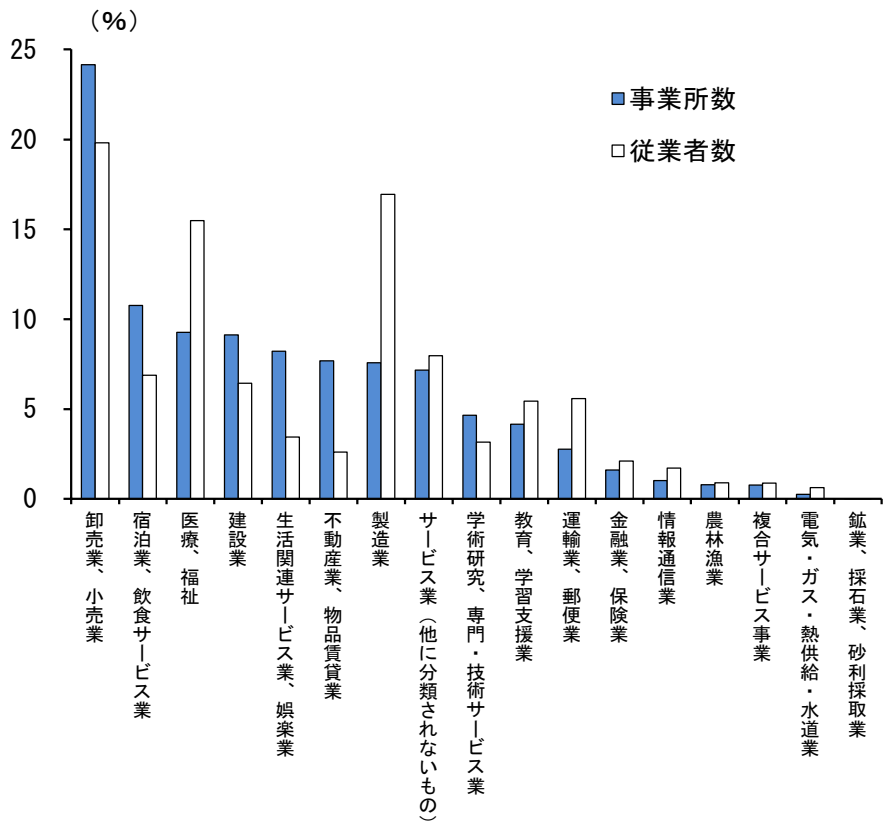
【図表15】都道府県別事業所数（2021年）

（事業所、%）

都道府県	事業所数	全国に占める割合
東京都	636,132	12.0
大阪府	389,186	7.4
愛知県	304,916	5.8
神奈川県	289,668	5.5
埼玉県	235,126	4.4
北海道	224,554	4.2
福岡県	214,619	4.1
兵庫県	208,090	3.9
千葉県	187,530	3.5
静岡県	165,092	3.1
広島県	125,320	2.4

（資料）総務省「令和3年経済センサス-活動調査」

【図表16】業種別構成比（2021年）



４．県内経済の特徴（３）製造品出荷額等

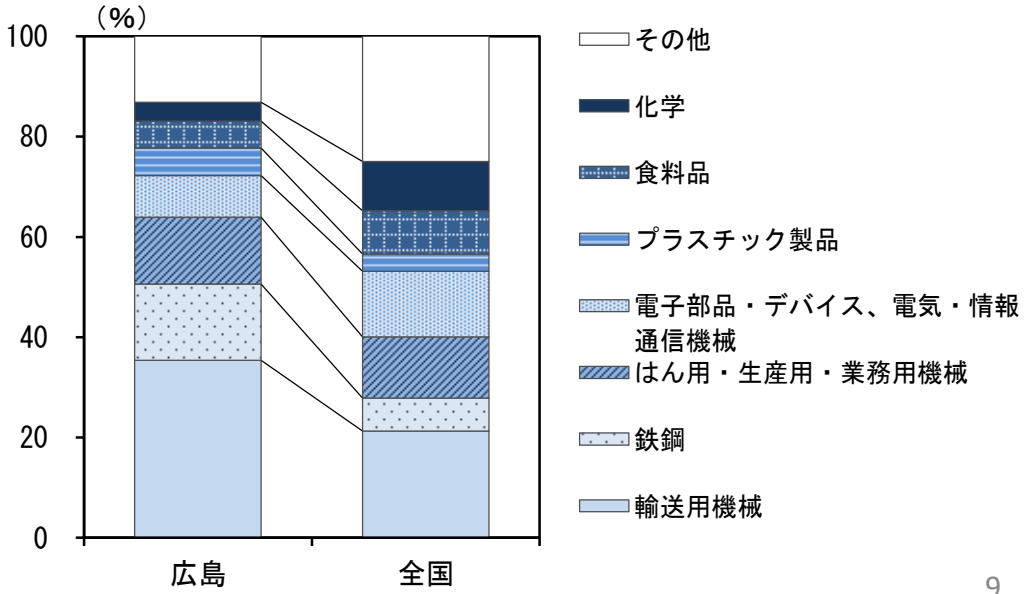
- 広島県は、明治中期の日清戦争以降、広島湾や呉を中心に造船等の軍需産業が勃興・発展し、「軍都・広島」としての色彩を強めた。第2次世界大戦後には、旧軍事施設を工業用地として活用できたことや、軍需産業に関連した技術力等が蓄積されていたことなどから、輸送用機械や鉄鋼など、いわゆる「重厚長大型産業」が著しい成長を遂げ、中四国最大の工業県に発展した。
- 広島県の製造品出荷額等（2022年）は、10兆6,923億円であり、全国におけるシェアは3.0%（全国10位）。業種構成をみると、自動車クラスターや造船業を中心とする輸送用機械のウエイトが最も高く、次いで鉄鋼、はん用・生産用・業務用機械となっている。全国対比でみても、これら3業種のウエイトは高い。

【図表17】中四国各県の製造品出荷額等（2022年）

（億円、％）

	製造品出荷額等	
		全国シェア
広島県	106,923	3.0
岡山県	96,982	2.7
山口県	76,150	2.1
愛媛県	54,074	1.5
香川県	30,730	0.8
徳島県	21,932	0.6
島根県	13,814	0.4
鳥取県	8,856	0.2
高知県	6,473	0.2

【図表18】業種別構成比（製造品出荷額等、2022年）



（資料）経済産業省「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

４．県内経済の特徴（３）製造品出荷額等（続き）

➢ 県内製造品出荷額等を市町村別にみると、広島市と福山市の2市で県内全体の5割弱を占めている。各地域の主な産業をみると、広島市では輸送用機械、福山市では鉄鋼のウエイトが突出して高い。また、造船会社が多く立地する呉市や尾道市では、輸送用機械のウエイトが相応に高いほか、東広島市では、電機や半導体の大手メーカーの工場が立地していることもあり、電子部品・デバイス・電子回路のウエイトが高い。

【図表19】市町村別製造品出荷額等（2022年）

（億円、％）

	製造品出荷額等	
		県内シェア
広島市	30,906	28.9
福山市	21,761	20.4
東広島市	11,345	10.6
呉市	9,825	9.2
安芸郡府中町	7,106	6.6
尾道市	5,750	5.4
三原市	4,104	3.8
大竹市	2,635	2.5
廿日市市	2,169	2.0
府中市	2,169	2.0

【図表20】各地の主要産業（製造品出荷額等、2022年）

（％）

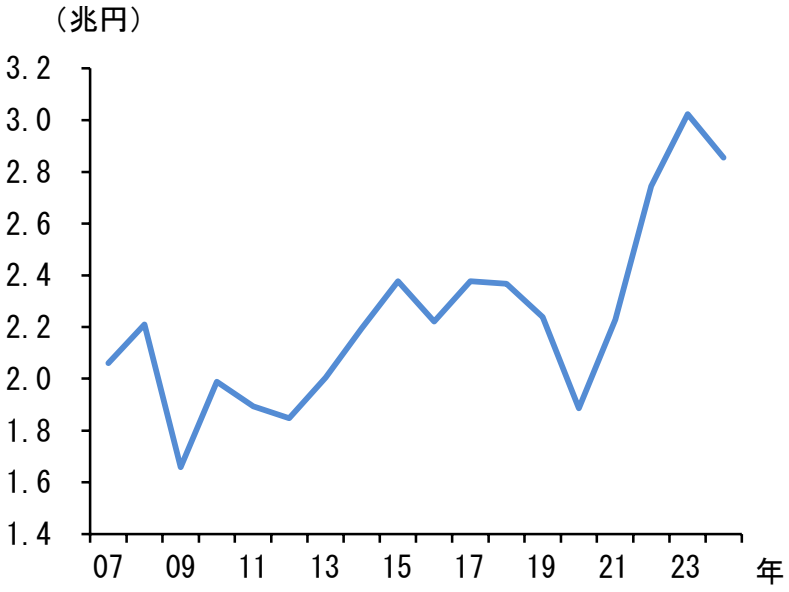
	主要業種	市内シェア
広島市	輸送用機械	61.5
	生産用機械	13.1
	食料品	6.7
福山市	鉄鋼	55.4
	輸送用機械	5.7
	生産用機械	5.2
東広島市	電子部品・デバイス・電子回路	43.0
	輸送用機械	17.4
	生産用機械	8.4
呉市	輸送用機械	23.2
	鉄鋼	15.6
	生産用機械	14.2
尾道市	プラスチック製品	34.1
	輸送用機械	24.2
	生産用機械	9.6

（資料）経済産業省「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

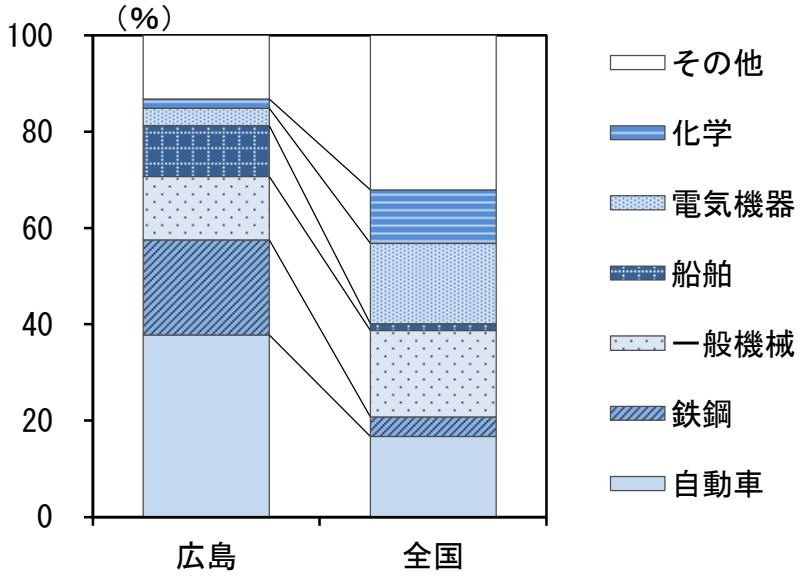
４．県内経済の特徴（４）輸出

➢ 広島県の名目輸出金額（2024年）は、2兆8,550億円であり、全国におけるシェアは2.7％。業種別にみると、自動車のウエイトが突出して高く、全国を大きく上回っている。このほか、鉄鋼や船舶のウエイトも全国対比高い。

【図表21】広島県の名目輸出金額



【図表22】業種別構成比（名目輸出金額、2024年）

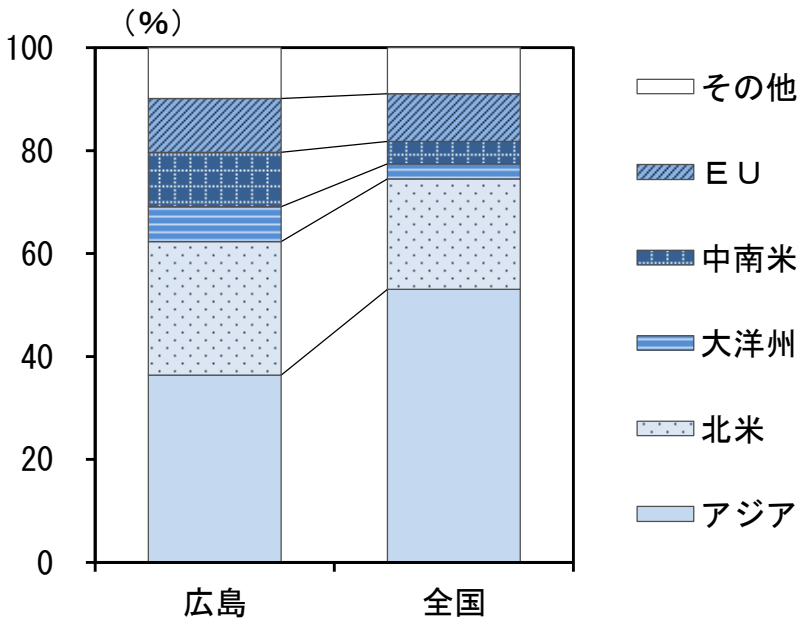


（注）2024年は確々報。2023年以前は確定値。
（資料）財務省「貿易統計」、神戸税関「県別貿易概況」

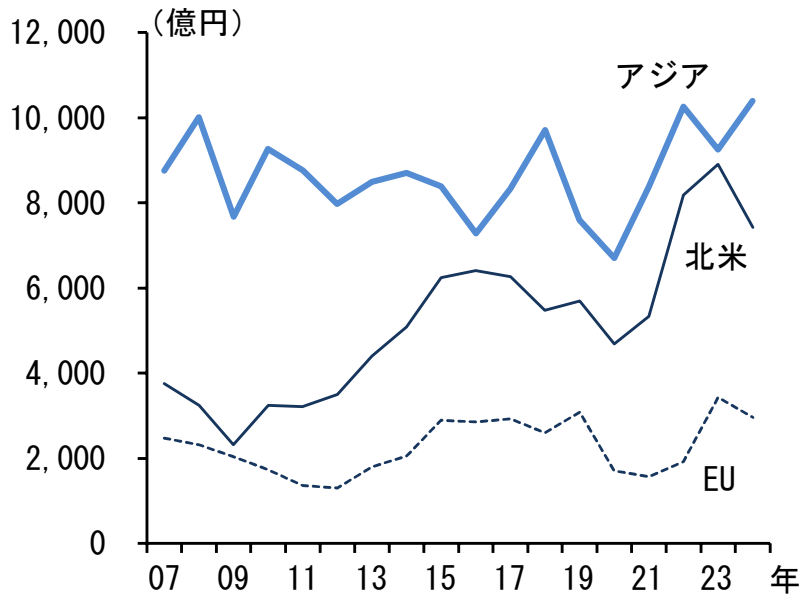
４．県内経済の特徴（４）輸出（続き）

➢ 地域別にみると、輸送用機械の製造が盛んな産業構造を映じて北米や大洋州、中南米向けの輸出ウエイトが高い一方、電気機器のウエイトが低いこと等からアジア向けのウエイトは全国対比では低い。

【図表23】地域別構成比（名目輸出金額、2024年）



【図表24】地域別名目輸出金額



（注）2024年は確々報。2023年以前は確定値。
（資料）財務省「貿易統計」、神戸税関「県別貿易概況」

（参考） 地域別・品目別の輸出構成比

【参考図表】広島県の名目輸出金額の地域別・品目別構成比（2024年）

（%）

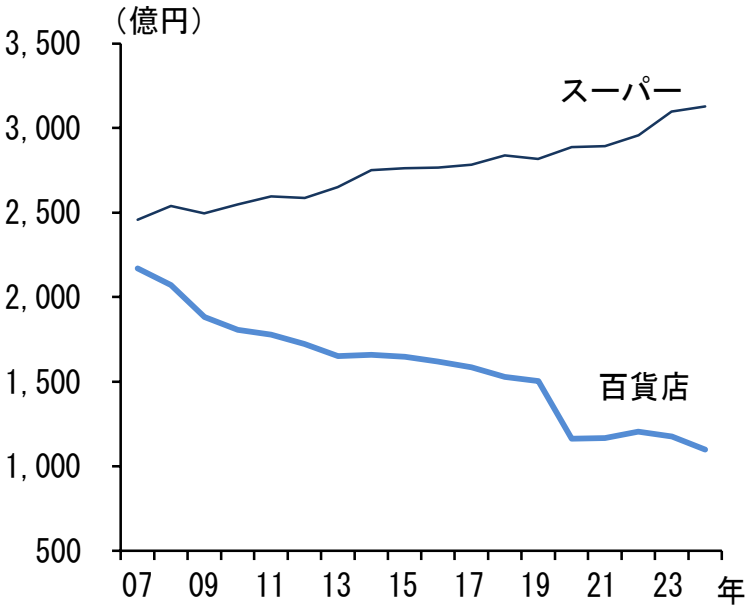
	合計	原材料（ゴム等）	原料別製品	鉄鋼	その他	機械類及び輸送用機器	電気機器	半導体製造装置	自動車	自動車部品	その他	その他
合計	100.0	1.3	22.8	19.7	3.1	70.5	3.6	3.0	37.8	3.9	22.2	5.4
アジア	36.4	0.8	18.7	16.6	2.1	14.2	2.3	2.2	0.8	1.3	7.5	2.8
韓国	5.6	0.1	4.1	3.8	0.3	1.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.9	0.3
中国	5.8	0.1	2.5	1.8	0.7	2.6	0.5	0.8	0.0	0.1	1.2	0.6
中東	3.6	0.1	0.7	0.6	0.1	2.8	0.1	0.0	1.5	0.1	1.1	0.1
中東欧・ロシア	1.4	0.1	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
西欧	11.8	0.2	0.5	0.2	0.2	10.6	0.2	0.3	8.9	0.3	0.9	0.5
北米	26.0	0.1	1.2	0.8	0.4	23.9	0.4	0.4	17.9	1.0	4.1	0.8
米国	22.8	0.1	1.0	0.6	0.4	20.9	0.4	0.4	15.1	1.0	4.0	0.8
中南米	10.6	0.0	0.7	0.4	0.3	9.3	0.5	0.0	3.3	1.0	4.5	0.5
メキシコ	5.7	0.0	0.7	0.4	0.3	4.5	0.5	0.0	1.8	1.0	1.2	0.5
アフリカ	3.5	0.0	1.0	1.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.1	0.0	2.4	0.0
大洋州	6.7	0.0	0.1	0.1	0.0	5.9	0.1	0.0	4.1	0.1	1.6	0.7

（注）確々報ベース。
（資料）財務省「貿易統計」

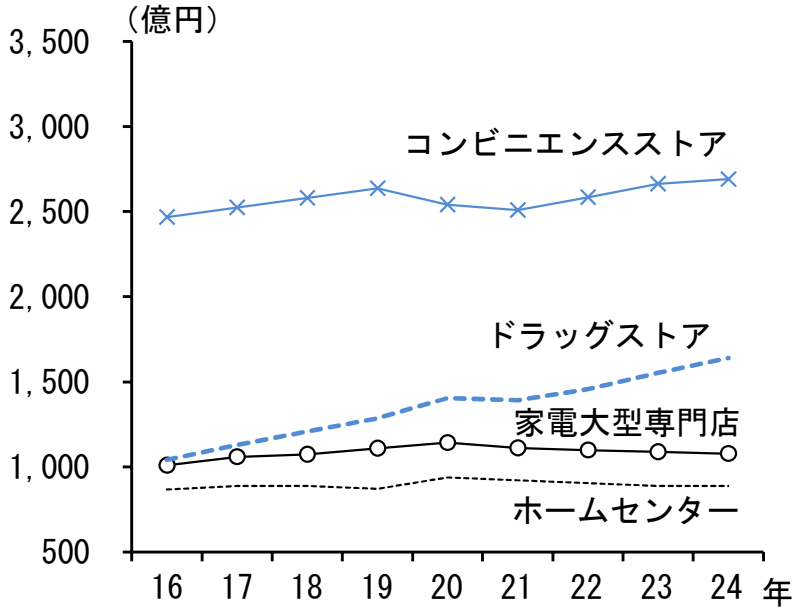
４．県内経済の特徴（５）商業

- 広島県の百貨店販売額（2024年）は1,097億円、スーパー販売額（2024年）は3,128億円であり、全国シェアは、百貨店が1.7%、スーパーが1.9%となっている。その他の業態では、ドラッグストアの販売額が増加基調をたどっており、百貨店を上回る規模に拡大している。

【図表25】広島県の百貨店・スーパー販売額



【図表26】その他業態販売額

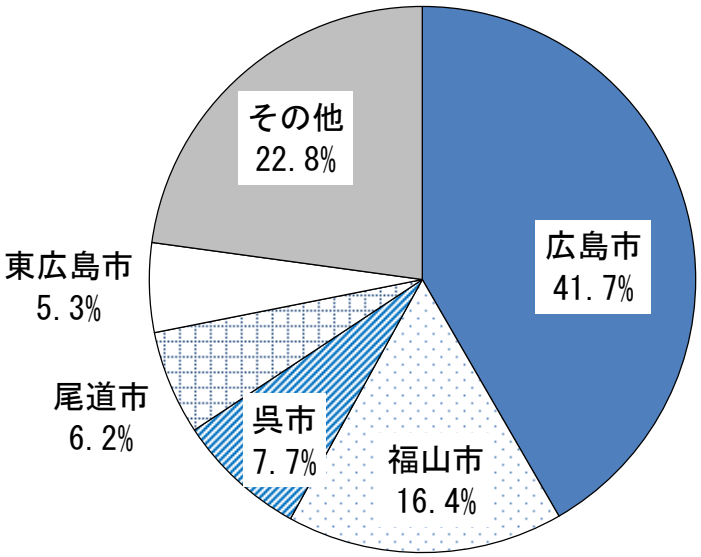


（注）調査対象事業所の見直しに伴うデータの不連続については調整を行っていない。
（資料）経済産業省「商業動態統計」

４．県内経済の特徴（５）商業（続き）

➢ 卸売・小売業の事業所数（2021年）は、広島市が全体の4割強を占めており、広島市内を中心に商圏が形成されている。また、百貨店や総合スーパーを含む各種商品小売業の売場面積も広島市に集積している。

【図表27】市町村別事業所構成比（卸売・小売業、2021年）



【図表28】各種商品小売業の事業所数と売場面積（2021年）

（㎡）

	事業所数	売場面積
広島市	34	251,698
福山市	12	42,229
東広島市	5	26,443
三原市	5	21,008
廿日市市	4	13,126
尾道市	6	11,615
呉市	7	9,858
その他	11	29,920

（注）各種商品小売業は、衣食住にわたる各種の商品を一括して一事業所で小売する事業所（百貨店や総合スーパー等）。
（資料）総務省「令和3年経済センサス-活動調査」

（参考）1世帯当たり品目別年間支出額の特徴（広島市）

- 家計調査の1世帯当たり品目別年間支出金額を都道府県庁所在市および政令指定都市別にみると、広島市は、特産品の牡蠣やお好み焼きに用いられるソース等の支出額が多い。

【参考図表】家計調査の1世帯当たり品目別年間支出金額（2人以上の世帯、2022年～2024年平均）

牡蠣（円）

1	広島市	2,191
2	高松市	1,618
3	仙台市	1,212
4	岡山市	1,200
5	神戸市	1,179
6	堺市	993
7	京都市	982
8	鳥取市	947
9	東京都区部	925
10	札幌市	908

ソース（円）

1	広島市	1,250
2	岡山市	1,043
3	神戸市	988
4	松山市	986
5	高松市	978
6	奈良市	962
7	鳥取市	951
8	大阪市	949
9	堺市	945
10	高知市	937

他の主食的調理食品（円）

1	さいたま市	24,040
2	広島市	23,924
3	川崎市	23,842
4	大阪市	22,706
5	東京都区部	22,431
6	千葉市	22,341
7	相模原市	22,054
8	堺市	21,846
9	浜松市	21,446
10	甲府市	21,204

おにぎり・その他（円）

1	さいたま市	7,880
2	川崎市	7,355
3	広島市	6,735
4	千葉市	6,622
5	高知市	6,583
6	仙台市	6,479
7	相模原市	6,453
8	静岡市	6,448
9	水戸市	6,434
10	岡山市	6,434

キャンデー（円）

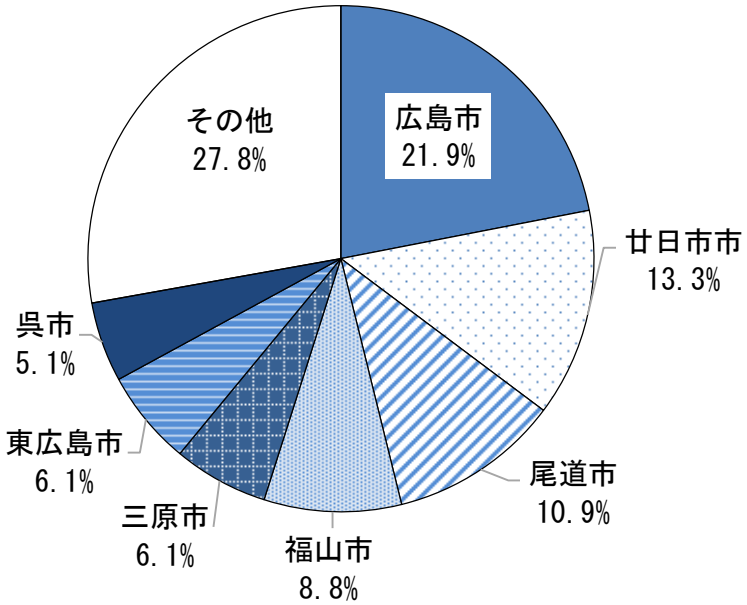
1	堺市	3,065
2	佐賀市	3,052
3	大津市	2,950
4	広島市	2,809
5	京都市	2,785
6	長崎市	2,744
7	川崎市	2,742
8	金沢市	2,741
9	松江市	2,740
10	札幌市	2,736

（注1）金額ベースで広島市の順位が高い食料。
（注2）「他の主食的調理食品」に含まれるものは、中華まんじゅう、お好み焼き、ピザ、冷凍食品など。
（資料）総務省「家計調査」

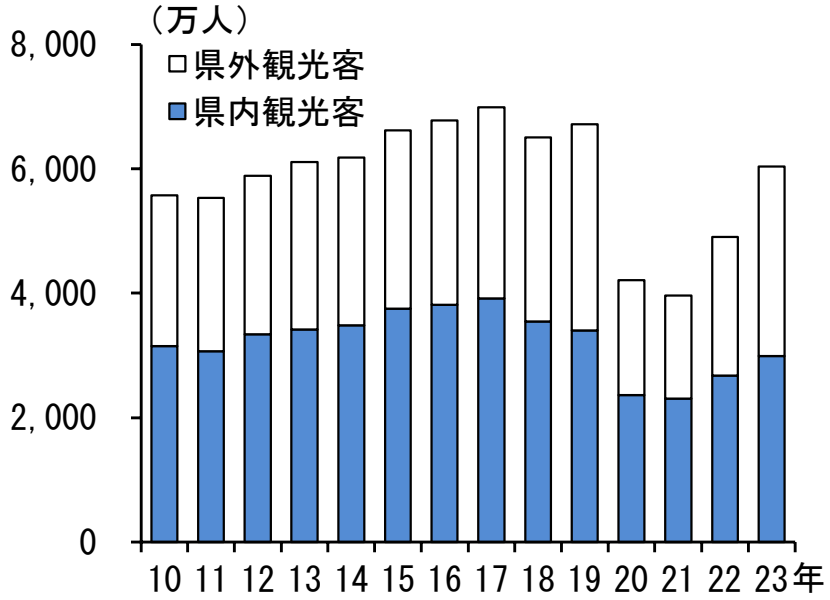
４．県内経済の特徴（６）観光

- 広島県は、2つの世界文化遺産（原爆ドーム、厳島神社）やサイクリングロードとして人気の高いしまなみ海道等の豊富な観光資源を有しており、地域別では、広島市、廿日市市、尾道市の順に観光客数が多い。総観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2021年には3,966万人まで落ち込んだが、2023年には6,037万人まで回復。

【図表29】県内地域別の観光客構成比（2023年）



【図表30】広島県内の総観光客数

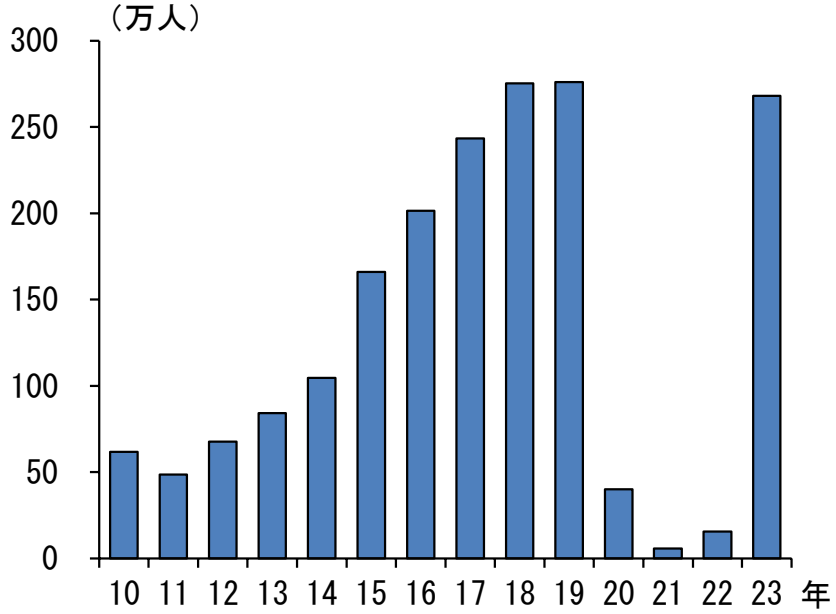


（注）県外観光客には外国人観光客も含む。
（資料）広島県、広島県観光連盟「広島県観光客数の動向」

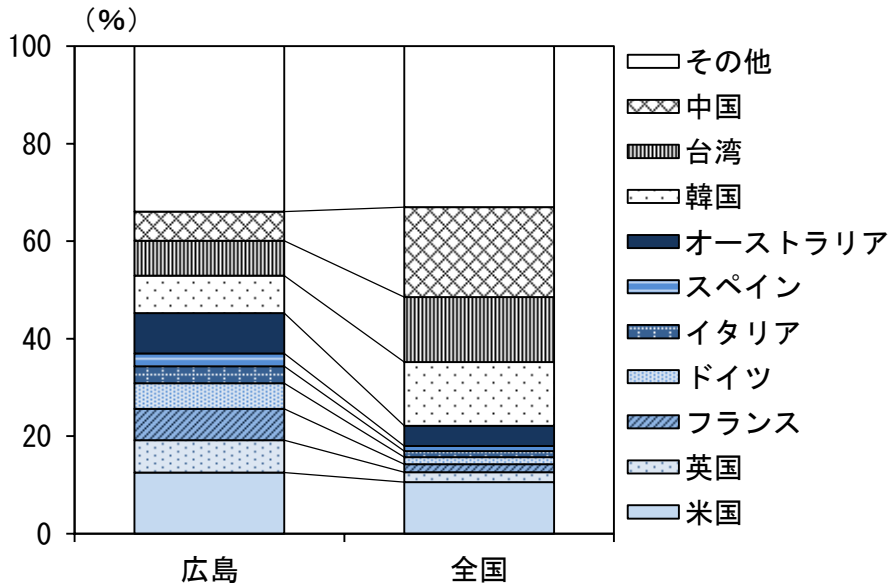
４．県内経済の特徴（６）観光（続き）

- 外国人観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2020～2022年にかけて大きく落ち込んだものの、2023年には概ね感染症拡大前の水準まで回復。
- 外国人延べ宿泊者数をみると、広島県は米国、英国、フランス、オーストラリア等の欧米豪のウエイトが全国に比べて高い。

【図表31】外国人観光客数



【図表32】外国人延べ宿泊者数の国籍別構成比（2024年）



（注）外国人延べ宿泊者数は速報値。
（資料）広島県、広島県観光連盟「広島県観光客数の動向」、観光庁「宿泊旅行統計調査」

以　上